

常磐毎日新聞

定価 一部五銭 月金五拾銭 郵費五銭
廣告料五銭 電話一五五五 行金五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

警備市制調査班

視察日誌(七)

3 二業地
二業地は一廓をなしてね
4 下水道
下水道は十ヶ年繼續事業として昭和元年に起工し昭和十年度に竣工の見込である。經費總額は百五十萬圓である。一の宮市は南北に通じてる國道を分水嶺として大体に於てその東は大江川に排水し、その西は日光川に排水してゐる。よつて大江川以西國道以東の二十五萬坪を第一工區としてその下水を終点川田に於て集水し、揚水ポンプの力に依つて揚水の上放流する計劃である。國道以西と市の北部とは九萬坪の第二區、二十萬坪の第四區、十二萬坪の第五區とであるが、第二區と第五區とは合流して第四區は直接に日光川に放流する計劃である。

ある相だ。(参考書類第二十、二十七、二十八、二十九、参照)
5 隔離病舎
隔離病舎は一の宮市單獨の經營で近村は參加してゐる。専屬醫師は一名で年俸は二千萬である。事務員は一名

★0000000000★
○明日の献立○
00000000000000
【朝】味噌汁 せん大根 小村 胡瓜 印籠漬
【書】煮付 鮮魚 焼豆腐 酢の物 いか 若芽
【晚】カニ玉子 フレンチ サラダ

で月給は五十二圓である。看護婦は一名で月給五十圓である。見習看護婦は二名で一名で二十圓である。傳染病患者が爆發性に一時多數發生する場合は豫想して、斯かる場合には臨時に醫師を雇ひ入れる事にして一日五圓宛の豫算を取つてゐる。臨時雇の看護婦は一日二圓六十五銭である。貧困患者で附添人が必要だが附添人を雇ふ財力の乏しい人のために一日一圓二十銭で百分百二十圓の豫算を取つて置く、従來は病舎の病人の收容力は十人だったが、昭和十年度に於いて一萬三千四百二十圓の豫算を計上して、九百九十二坪五

合の病舎を一棟建て増す計劃である。そうすれば病人の收容力は三十人に擴大される事となる。(参考書類第三十、三十一號参照)
6 警備
大日本消防協會代議員として民間消防界の權威である淺井組頭を載せてゐるだけ他と比べて斷然光つてゐる名實共に表彰組としての價値がある。殊に同市平垣地、ある關係上市廳舎の屋上展望塔は一望、全市は勿論近郊十里に亘つて透視が完全に出來るため火災發見に非常便で市中を縦横に貫流する江筋は消火能力を増加せしめて、眞に人と地の利を得た恵れたる消防都市である。目下工事中の上水道にも多分に消火水道としての考慮が盛り込まれてゐるとの事では完成後は更に威力を發揮するであらう。

星には銀線 地には御待の影
マクシー界の最高標準を行く御待の影
1935年式
高級 **ポンテアク** 今朝到着
何卒御試乗を御待申して居ます
平 驛 前
昭和タクシー
電話 240 243

市原醫院

平町・田町
電話一四四番

專 門
婦 産 科
人 科
花柳病科
◎入院隨意

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

頭痛で不快の方
二三回で不思議に快癒する

フタバの磁氣
平町中仲町(電一九三番)

石炭一〇〇パーセント
サーヴキス

時節柄 **値下げ!**
ダンゼン

一等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢
特塊同 金參拾五錢

品質が優良 目方が正確
此の点は當店を絶対に御信用願ひます
◎市内は一俵より配達致します
電話三七番
阿部石炭商店

盛夏は招く!
深緑の山へ...
紺碧の海へ...
東京鐵道局公認
不二タクシー
電話三二番

盛夏の候益々御清祥に入らせられ奉慶賀候
陳者私儀平町開業中は多年施々御懇情を辱ふし
奉深謝候 今回東京市立結核療養所へ勤務のため閉院致し本日出發仕候
就而今後共舊 倍し御指導と御鞭撻を賜たく一々拜眉申し上ぐ可き處乍略儀紙とを以つて御厚禮かたぐ御挨拶迄如斯に御座候 拜具
七月十四日
川井内科診療所
川 井 安 子
尙御用件有之候はば瀬尾藥局迄御申出での程願上げ候

毎度御引立を戴いてゐる
藤寅では例年通り
冷たい美味しい飲物
アイスクリーム アツキアイス
ミルクセーキ ソーダ水
ミツ豆 クリームソーダ
其他氷水各種
相初めました是非夏の夕の御散歩
歸へりに御立寄り下さい
平一丁目

迅速 **不慮寅**
電話一四一番

一、齒科一般 保存科補綴科 繼續架
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一、口腔外科 一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西 川 誠
平町田町(松月堂向と) 電話五〇九番

平町の縣議選舉

有権者増加

近く名簿調製

總數四千五百五十餘

平町役場では今秋の縣議選舉に備へる爲め改正案に依る選舉資格人名簿を七月月上旬迄に作製して七月廿日か

改まり児童を午前中の涼しい内に歸校させることになつた

平町々民 体育大會

青年團協議

平町青年團は明十六日午後七時より住吉屋本店で幹部會を開き来る廿一日開催の町民体育大會其の他に付き協議する

民政部會 昨日の總會

役員を決定し

縣議立候補三名申合せ

授業時間 暑中短縮

平町各小學校では今十五日より例年通り従前の四十五分授業を卅五分に短縮始業は卅分早めて午前七時半に

市制財政調査の 道草物語 (三)

川崎 文治

運轉手は益々威猛高くなる。『私しやあ、警察から罰を受けた事が……ヘン、未だ一回ボツチもありあしませんよ、ヘン、助手臺に客を乗せりやあ、違反になりませぬ、違反承知で乗せれるか、乗せれないか、御座

石城民政部會總會は昨十四日午前十時から南町俱樂部樓上で開會宣言決議の後役員改選の結果左記の如く重任と決定今秋の縣議戰には候補者三名の公認を申合せその必勝を期して散會したが尙右の以外に野崎滿藏氏が

ちうから、乗せねえのに……何が無理だア 『無理でせう、最初乗せると云つたのは無理でせう』斯ふなると僕や佐藤君の如き血の氣の多いのは、何條黙すべきやだ 『貴様の云ふ通りに、番頭は乗せなかつたんだから、ツベコベ云はねえでも解んでねえか、貴様此處で兎や角と難癖をつけて、變にからまつた物の云ひ振りをするが、酒手でも欲しいのか、コノ雲助野郎！』

延長戦に 平商涙を呑む

昨日の磐陽早慶戦

磐中阿部の殊勳

磐中對平商の野球第三回戦は昨日四日磐中グラウンドで審判田部(球)國井、熊(球)三氏の下に平商先攻で十時廿分開戦

平商は一回裏内野の凡失に磐中一点先取されたが二回表石川投手の暴投に一点を挙げ更に三回表森下西脇の安打と敵の野選に三者ホームイン△△△△回磐中一点で前半平商四對二とリードす△△△△キ一セブン七回に平商船生二壘失に出壘西脇の本壘打に二者生還したがその裏磐中二死後阿部四球二盗につき上坂中堅左を抜く本壘打に二点を奪はる△△△△回平商荒木四球で出

失とタイムリーヒットに三點をあげ延長戦となる△十回平商無爲、磐中草野二回、柳澤一捕で二死無爲と見られたが次打者阿部の強打に右翼を抜かれ阿部負傷した足乍ら懸命ホームインで平商涙を呑む

平商	0	1	3	0	0	0	2	2	0	0	8
磐中	1	0	0	1	0	0	2	1	3	1	9A

26-21

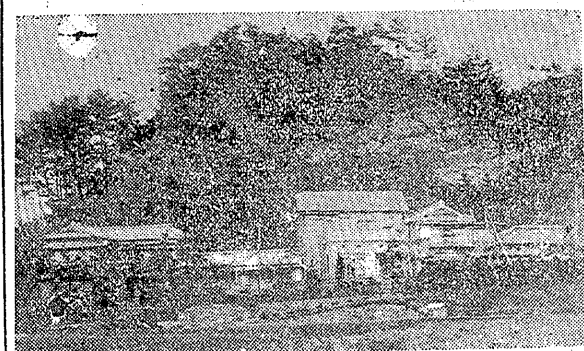
猛然逆襲して 磐炭一躍制覇

昨日の磐陽野球決勝戦 入山 磐炭

磐陽野球大會の磐炭對入山決勝戦は昨日十四日磐中球場で審判石坂(球)熊、國井、佐分利(壘)の下に磐炭先攻で開戦、入山は磐炭和久井投

手の不調に乗じて前半戦既に十九点を挙げ大勢決した磐炭軍猛然逆襲に移り大量得点を重ねて廿六對廿一の

△湯屋三助 五十五才 尋卒
△料理人 二十二才 高卒
△店員 二十才 高卒
△コック 二十七才 高卒



◆宿泊料 1.50 2.00 2.50 (御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)

◆日歸浴席料 .20

◆自炊料 .50—1.80 入場料・室料 夜具料一切

◆料理一定食 .80 1.00 1.50 その他一品料理洋食

効神痛・リウマチス・胃腸病・痔疾・婦人病・逆上・中風・肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定)

◆諸設備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣間・讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所・小動物園・タクシー・御子様運動器具

◆名物 川魚料理(うなぎ・鯉) 蜂蜜羊かん

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉 御旅館 瀧の湯 御自炊 電話 小名濱 103番

スコアで磐炭勝つ 入山 383411100 21 磐炭 0010123514 26

梅雨模様は

全く解消!

暑くなるばかり!

測候所の談

入梅開けの石城地方は十日以來再び梅雨が盛り返した様に朝夕は十六度前後の肌寒い寒冷に見舞はれ農家では寒害凶作を再び繰り返すのではないかと心配して居るが小名濱測候所の観測に依ると

大体去年と同様オホツク海と小笠原沖に高気圧が双方で頑張つて居た爲め天候は非常にグツついたがオホツク海方面の高気圧は次第に弱つて來たので梅雨模様は永續しな

停留場の設置陳情

上京日決定

既報ガソリンカーの停留場設置に就いて鐵道省及び水戸運輸事務所等に陳情する青沼平町長外關係十餘名の町村長一行は明十六日午前五時十五分平驛發列車で上京するが陳情内容は左の如くである

郵便物の集配緩和

新体操の講習

平郵便局は暑中に於ける従業員の郵便物集配難を緩和する爲め本月廿一日より八月三十一日迄減便並に出發時刻を左の如く變更すると

(市内取集)一號便午前六時出發は中止、二號便午前八時三十分出發、三號便正午出發を十一時に繰上、四號便午後七時三十分出發(市内配達)一號便

午前七時半出發、二號便中止、三號便四時半出發を四時に繰上(市外集配)一號便七時半出發、二號便中止

磐女水道

平町水道部は櫻町地内の消火栓取付工事の爲め本月十五日午後九時から午前零時迄磐女外七軒の水道を断水する

印刷屋泣かせ

餘罪續々判明 既報神谷村大字鹽字風内生れ佐藤孝行(三)は去月中旬山市虎丸町春山印刷店主の現金百九十圓を窃取して逃走埼玉縣下に潜伏中を檢舉

學校の建築用材

忍かに窃取發覺

鹿島村字走熊居住農山野邊義(三)は四、五兩月中に同村舊小學校舎から建築材料窃取した事發覺目下平署で取調中

新体操の講習

小學校は第四區教員會後援の下に來月二日より三日間午前九時より午後三時まで東京市三橋体操研究所理事永藤不二意氏を聘し新体操講習會を開催するが大敷綱船使乗、セメント工場の見學も併せて行ふと

蠅取り日延期

平町長橋町いは新報社主催第三回蠅取りは來る十日より三日間舉行される

明日の天気

今晩も明日も北東の風曇り

今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間
- お話「夏の空」鈴木敬信
- 後六二五 基礎英語講座
- 岡倉由三郎
- 後七三〇 講演「歴史より見たる太平洋」法學博士高木八尺
- 後八〇〇 尺八「夜の懷」倉川蕭山

明日の部

- 前六三〇 基礎獨語講座
- 武内大造
- 前七〇〇 朝の修養「勝鬘經」深浦正文
- 前一二〇〇 家庭看護「正木俊二」
- 後〇〇五 トーキョー音楽「夕暮の歌」
- 後二〇〇 婦人の時間「茶道の話」千宗守
- 後三〇〇 實業専門校野球
- 後六〇〇 子供の時間

産業組合設立に 更生課長が指導

既報郡下の産業組合未設置町村に對する縣の組合設立指導協議會は本十五日午前十時から團体事務所樓上に開かれ小田切縣經濟更生課長以下七十餘名が出席協議した

第一校が 決勝戦に

教員團野球

郡下教員團野球大會は昨日十四日午前八時より平商平第一第三の三球場で舉行されたが戦績左の如くで平第一チームは優勝候補とされた勿來チームを一蹴、今十五日午後二時から昨日四對四でドラゴンゲームとなつた小名濱對内郷の勝者と決勝戦に臨む事となつた

遊興税の 測定額協議

平縣稅務出張所は本月廿日午前十時から小名濱町役場内に遊興稅關係の平町外十三ヶ町村の稅務主任を會し遊興稅測定其他を協議す

電話至急買度し

(姓名在社)

シネマ週報

世界館 オールトキキ 林長二郎、飯塚敏子主演 『鯉名の銀平』オールトキキ 岡譲二主演 『いろはに』へと、オールトキキ 援團長の戀 松竹ニューズ 二二號十五日より三日間十錢

平野八重

回出生 △十五丁目岡田健吉氏二男 健二郎

回死

△古鍛冶町三〇 古川昌子 (一ツ)さん △立町百三目澤サダ子 (一ツ)さん △搔樋小路一佐藤仁子 (三ツ)さん



明治太平記

(上巻及上巻)
(作) 寺島征史
(筆) 寺島征史

第七十五回

三人の訪客 (二)

「いまのさつき、おのれはもうおとどころではないとぬかしたではないか」
「はい、ですけど、やつぱり、あんたに譲つてしまふのは、をしいわ……ホホ、」
朗かなしあしたまた妙に不気味な笑ひだつた。

浅春——にしてはいやにうら／＼かなはだつた。
日なたに居るとつひうとくとなる。

稻荷堀の西郷の邸の日本間の縁先で、あるじの隆盛は座蒲團の上にとどかと大あぐらをかいて居眠りをしてをるのか夢想にふけて居るのか、大きな眼をつむり茫漠として日なたぼつこに餘念がない。

忙中に閑を得て……といふよりかどころ鈍な田舎者が職を失つてつれづれの餘り晝寝をしてをるとでもいつたかたち……
彼はたつた一度眼を開いて、冬が来た庭先をぼんやりながめたさき長い間冥想に沈んでゐた。

だから其の時一人の書生が何か用事があつて西郷の所までやつたが折角ひるねをしてをるあるじを起すことも出来ず、大あぐらをかいたまゝ向うむきに坐つてをる西郷の背後で



「篠原先生があらつしやいしました」
「これへお通しなさい」
「はつ」
待つ間もなく篠原國幹は肋骨のついた詰襟の軍服のままのつし、のつしと近づいてきた。
「先生」
「おう」
やはり西郷は、牛の様な應答。しかも眼をつむつた儘だ。
「いよ／＼事態が急迫して参りましたぞ。先生、廢藩署縣をいよ／＼政府が斷行

「先生」
と遠慮しながらいつた。決して閣下といはず先生といふところに内面には親しさを感ぜさせる言葉だつた。
西郷はやはり眼をつむつたまゝ
「おう」
と牡牛の様な返事だつた

するものと豫想して各藩に於いては非常に藩論が硬化してきた様子です」
「なるほど」
「この様子では各藩の失業の大衆は、各所に團結していかなる行動をなすか、とんと豫想がつきません。久留米において土佐において更に米澤方面にも明治新

政府打倒の秘密結社が出来一日一日と大きくひろがつて行くやうです。先生どうしても外征して廢藩置縣によつて生ずる失業者群を緩和するより外に方法はありますせん。」
「……」
「先生、非征韓論者の意見などけちらして一刻も早く進撃することです。でないやがて國內に充満する失業武士の爲めにとんだ事態になりますぞ」
「なるほど……しかし、どうでも大久保の市藏が、うんといつてくれなければ……」
西郷はまた庭先の方をむき眼をつむつたまゝだ。
「その時は、民意を代表して先生あんたが全國の同志を集め、號令一下、朝鮮へ押渡るのですなア」

◎最も理想的な相互扶助機関◎

中小商工業者の一大福音
石城中小商工互融會生る
融資御希望の方へは
□十銭の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します
□僅か十銭の日積で満額拂戻の時には五分以上の割戻分配を致します
一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
二、懇談會併精神修養講話會
三、會員の吉凶慶弔
四、人事百般の相談
五、法律無料の相談
六、診療救恤の補償
七、納税の代納事務取扱
八、勤儉蓄積の奨励
九、小資本の融通
一〇、會員の特典
一、會報の發行
●皆さん御利用を願ひます
相互扶助機關

石城中小商工互融會

福島縣平町橋樋小路一番地

内科 外科 一般

金成醫院

平鏡田町(電三五八)

歯科 口腔外科

レントゲン科

院長 醫學士 原 精一
醫學士 柏倉 武男

原齒科醫院

平町土橋通り
電話三一三番

吸入用酸素 純度 99%

モノサシ
マス
ハカリ

器量計

體溫計
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

腸胃 性病

内科 科
胃腸病科
性病科
皮膚科

門 專

院科 性病 胃腸 村松

(平町南町一七〇番)

夜 間 療